

マップ作成の目的

地形的に平坦地が少ない長崎市では、住宅地の確保や公共事業の推進のために大規模な盛土造成工事が行われてきました。

全国の大規模盛土造成地の一部においては、近年の阪神・淡路大震災や東日本大震災のような大地震時において、がけ崩れや土砂の流出等による被害が生じた事例が報告されています。

このマップは長崎市における一定規模以上の盛土造成地のおおむねの場所を表したものです。

市民の皆様身近にある大規模盛土造成地の場所を知っていただくことで、普段の生活の中で目にする擁壁や斜面に目配りをするなど、防災意識を高めていただくことを目的に作成しました。

(参考) 近年の震度7以上の大地震

平成 7年 (1995年)	1月17日	阪神・淡路大震災	震度 7
平成16年 (2004年)	10月23日	新潟県中越地震	震度 7
平成23年 (2011年)	3月11日	東日本大震災	震度 7
平成28年 (2016年)	4月14日	熊本地震	震度 7

通常、地震はマグニチュード6以上のものを大地震といい、その定義でいえば、地震の数はもっと増えます。

大規模盛土造成地とは

山を削り、削った土を、谷や沢、傾斜地に盛土してつくられた造成地で、次に該当するものをいいます。

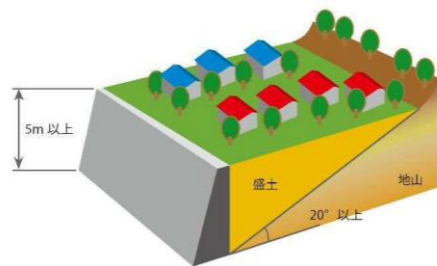
谷埋め型(大規模)

谷や沢を埋めた造成地で、盛土の面積が3,000㎡以上



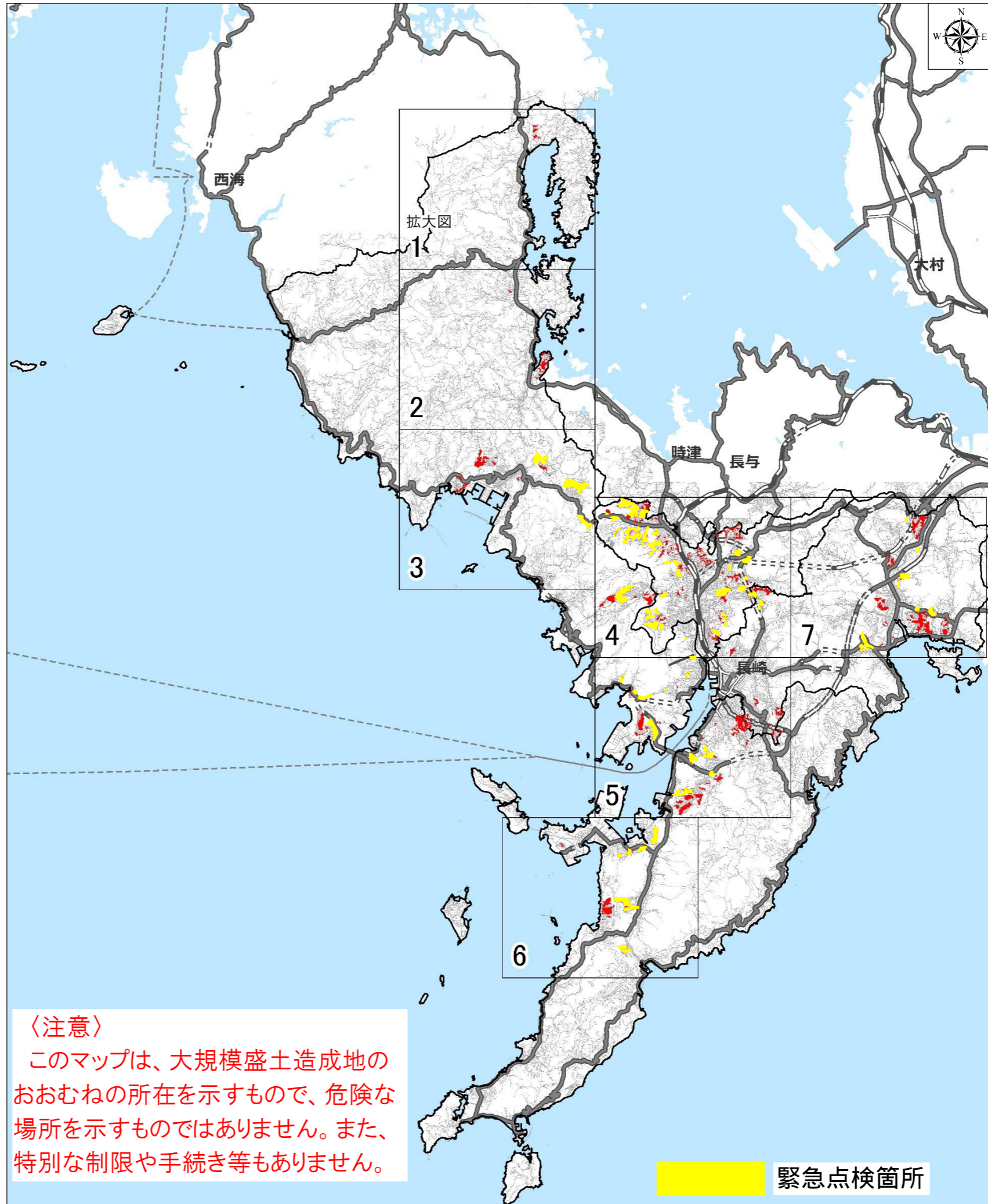
腹付け型(大規模)

傾斜地に盛土した造成地で、造成前の地盤の傾斜が20度以上で、かつ、盛土の高さが5m以上



マップの問合せ先

▼このマップの問合せ先:長崎市まちづくり部建築指導課
〒850-8685 長崎市桜町2-22 電話:095-822-8888(代表)



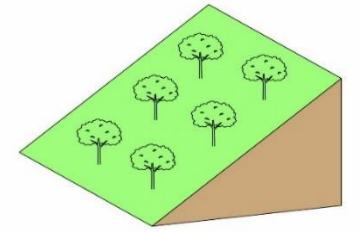
全体図

- 大規模盛土造成地
- 行政区域
- 拡大図の図郭(No.1~7)

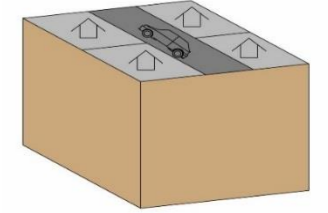
このマップの作成方法

新旧の地形データを重ね合わせて作成しています。

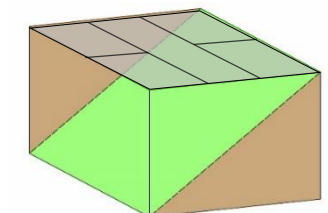
(1) 造成前の標高を古地図や古写真から再現 (最古の地図は昭和29年の地形図)



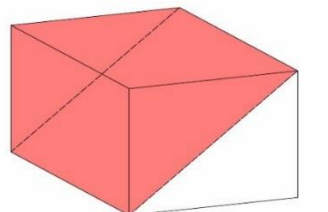
(2) 現在の標高を調査(最新の地図は平成26年度の地形図)



(3) 上記の(1)と(2)を重ね合わせて標高差を判定



(4) 大規模盛土造成地を抽出



注) 埋立地や平坦地、古い地図よりも以前の盛土は調査対象外。

〈注意〉
このマップは、大規模盛土造成地のおおむねの所在を示すもので、危険な場所を示すものではありません。また、特別な制限や手続き等もありません。

緊急点検箇所